

持続性タイプ

日曹ハイクロン[®] (錠剤) -20

20g錠剤 **医薬品**

剤型 20g錠剤

包装 20kg (100錠×10袋)

特長 顆粒剤を投入した後、本薬剤を投入することで、
所定の遊離残留塩素濃度を約3時間管理し、
殺菌効果を維持できます。



プールの殺菌・消毒剤

日曹ハイクロン®の特長

消毒剤の種類および形状

品 名		pH	形状	有効塩素(%)
塩素連続注入用	日曹ハイクロンTB-200	中性	固形	70
	日曹ハイクロンTB-100			
	日曹ハイクロンTB-20			
直接投入用	日曹ハイクロンG			
	日曹ハイクロン(錠剤)-20			
小型プール・浴槽用	日曹ハイクロン1kg 顆粒			
トリクロロイソシアヌル酸		酸性	固形	85～90
ジクロロイソシアヌル酸ナトリウム				55～63
塩素ガス			気体	100
次亜塩素酸ナトリウム		アルカリ性	液体	6～12

殺菌・消毒効果

プールの殺菌・消毒剤ハイクロンは、有効塩素を70%含有し、殺菌や消毒に優れています。
水中の遊離残留塩素を0.4~1.0mg/ℓに保つことにより、大腸菌等を殺菌し、ウイルスを不活性化します。

遊離残留塩素	菌 名
0.10mg/ℓ	チフス菌、パラチフス菌、赤痢菌、コレラ菌、黄色ブドウ球菌
0.15mg/ℓ	ジフテリア菌、脳せきずい膜炎菌
0.2~0.25mg/ℓ	肺炎球菌、大腸菌、溶血性連鎖球菌
0.4mg/ℓ	アデノウイルス

製品の特長

① 目にやさしい	日曹ハイクロンは、プール水を中性に保ち、目を刺激しません。
② pH調整不要	日曹ハイクロンは、プール水を中性に保つので、pHの調整は不要です。プール設備や塗装への影響はありません。
③ 清澄効果	清澄効果に優れ、プールの透明度を増します。
④ プール水の緊急利用	日曹ハイクロンの主成分である次亜塩素酸カルシウムは、食品添加物の許可を受けていますので、災害時の飲料水としても使用されています。
⑤ ろ過機および配管に対する影響	日曹ハイクロンは、プール水を中性に保つので、ろ過機および配管の耐用年数に影響を与えません。
⑥ 経済性	日曹ハイクロンは、pH調整などを特に必要としません。プールシーズン中の水の入れ替えをすることなく使用でき、とても経済的です。



警告

日曹ハイクロンのご使用前に、取り扱い上の注意を必ずお読み下さい。

本品は強力な酸化剤です。貯蔵及び取り扱いの際には、次の点に注意してください。

取り扱い上の注意



酸化性



有害性



接触・混合禁止



火気厳禁



子供注意

危険防止のために

- (1) 日曹ハイクロンは塩素化イソシアヌル酸系消毒剤（メルサン、ハイライト、ネオクロール、ポンシロール、ベースサン、ベースリッチ、マスター等）とは絶対に混合しないでください。

混合した場合、有毒ガスや塩素ガス等が急激に発生したり、爆発することがあります。

- (2) 日曹ハイクロンは酸・脱塩素剤（還元性物質：チオ硫酸ソーダ、亜硫酸ソーダ等）・油脂・グリースやその他の可燃物とは、混合したり、接触しないでください。

混合した場合、塩素ガスや酸素ガス等が急激に発生したり、爆発や発火することがあります。

- (3) 絶対飲み込まないでください。
飲み込んだ場合、粘膜組織障害を起こします。
- (4) 眼に入れないように、保護メガネを着用してください。
眼に入れた場合、眼を刺激し、炎症を起こします。
- (5) 粉塵を吸入しないように、防塵マスクを着用してください。
粉塵を吸入した場合、呼吸器を刺激し、粘膜組織障害を起こします。
- (6) 皮膚に触れないように、ゴム手袋や保護用前掛けを着用し、取り扱い後には顔や手等を十分に洗ってください。
- (7) 子供の手の届かない場所に保管してください。

保管や取り扱いについて

- (1) 火気のある場所、高温の場所（ボイラー室、機械室等）や直射日光を避けて保管してください。
- (2) 湿気の少ない涼しい場所に保管してください。
- (3) 水に濡れないようにしてください。
- (4) 製品容器を破損したり、強い衝撃を与えないでください。
- (5) 他の容器や袋に詰め替えないでください。
詰め替えると、本品の識別ができなくなります。
- (6) 器具は磁器、樹脂やガラス製等を使用してください。

応急処置について

- (1) 眼に入った場合は、直ちに流水で15分以上洗眼（特に眼球やまぶたの隅々まで）し、速やかに眼科医の手当を受けてください。
- (2) 飲み込んだり、吸い込んだ時は、直ちに医師の手当を受けてください。
- (3) 皮膚や衣類に付着した場合は、直ちに払い落とし、水で洗浄してください。

火災の時にについて

- (1) 火災が発生した場合は、本品を火災現場から直ちに遠ざけてください。
- (2) 大量の水で消火してください。

処分、廃棄する時について

- (1) 本品を、ごみ箱・ごみ捨て場には捨てないでください。火災の原因となる可能性があります。
- (2) 本品を処分する場合、販売店等にお問い合わせください。
- (3) 使用済みダンボール・内袋（ポリエチレン）の処分については、各地域のごみの処分方法に従い廃棄してください。なお、内袋については十分洗浄し、乾燥したあと処分してください。

製造販売元



日本曹達株式会社

東京都千代田区大手町2丁目2番1号

緊急連絡先 本社 エコケアグループ 03-3245-6148

環境・品質管理部 03-3245-6237

大阪支店化学品グループ 06-6229-7323

夜間・休日／二本木工場保安センター 0255-81-2311